



進路通信 ~高きにのぼる心もて~

始月第1号・保存版
2024. 4. 10 発行

◆新入学・進級おめでとう◆

4月・始月のスタートです。新しい学校・学年・クラス、そして新しい自分の始まりです。しばらくは環境の変化に戸惑いや不安を感じるかもしれませんが、志も新たに、高女のスクール・ポリシーである【自立】【創造】【対話】の体現を目指し、いろいろなことに主体的に挑戦しながら自分自身の力を高めていってください。

進路指導部では、今年度も全校生徒みなさん一人ひとりが安心して目標に向かい、進路目標を達成できるよう支援していきます。今年度は以下のメンバーが担当しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★1学年：田村晶・池田成宏・フランク美幸・宮田滋子・奥野博

★2学年：野村耕二・手島和典・小澤杏・齋藤貴昭

★3学年：五十嵐健一・福島悠太・市川貴博・柴原直樹 ★学年外：吉田恵美



◆進路指導室・進路資料室・学習室1・2の利用について◆

進路指導室・進路資料室は管理棟1階東、学習室1・2は校舎棟1Fにあります。進路指導室・同資料室内と周辺には古いものから最新のものまで取り揃えられた赤本・進路情報誌・パンフレットなどたくさんの資料のほか、廊下にはコピー機もあります。すべて高女の大切な【資産】なので、次の注意事項をよく守り、大切にしてください。

進路指導室・資料室に來たことがない人は、とりあえず一度来てみてください。大歓迎です♪

進路資料室・コピー機 利用上の注意事項 ※R7年度(2025年度)が今年度入試の最新版資料になります。

1. 進路資料室はいつでも利用可。資料は自由に閲覧・貸出もできますが、長時間の滞在・飲食はご遠慮ください。
2. 赤本や資料等は丁寧に扱い、折り目をつけたり、書き込んだりしないこと。また、勝手に持ち出さないこと。
3. 資料を借りたい場合は必ず貸出簿に記入し、できるだけ速やかに(7日以内)返却すること。
4. 廊下のコピー機はセルフサービス・1枚5円で利用できます。考査前・受験期などは混雑するため、大量コピーや部活動・私的用途のコピーはご遠慮ください。用紙切れ・エラーが出た場合は放置せず、必ず申し出てください。

進路指導室 利用上の注意事項 ※教員用PC・資料の手前までは自由に入ってOK。

1. 最新の赤本(2024・2025年度用)や問題集等があります。閲覧・コピーはOKですが、【持出・貸出不可】です。
2. 会議中・来客対応中は入室しないでください。また、生徒の入室は看板の手前まで、奥には入らないこと。
3. 開室時間は授業日の8:00~17:00を原則とし、進路主任不在時は施錠します。急いで見たい資料がある時は進路担当の先生に頼み、付き添いの下で使用してください。

学習室の使い方 ※今年度は教員による学習室下校指導・戸締まりをしません。利用者自身で管理してください！

※職員週番が巡回する16:50以降、HR教室には原則残れません。学校に残って学習する場合には学習室を利用してください。学習室を利用できる日・時間帯は月ごとに学習室入口に掲示してお知らせします。

1. 開室日・時間：月~金7:00~17:50(考査期間は16:50まで)
土・長期休業中(学校開放日のみ)：8:00~16:00
2. 席取りや私物の放置をせず、譲り合って【きれいに】使用してください。
3. グループ学習や音読学習はできません。私語を慎み、【静かに】学習すること。
4. 水分補給以外の【飲食厳禁】です。
5. 最後に学習室を出る人は、戸締り・消灯、エアコン・空気清浄機のOFFにご協力をお願いします。



◆令和6年度(2024年度)入試 大学等合格者数(浪人生含む・詳細は中面に掲載しました)◆

令和5年度卒業生272名の進路決定状況

国公立大学進学 162名 私立大学進学 93名 専門学校進学 1名 進路未定・進学努力継続 16名

今年度入試では国公立大学に現役生175名+浪人生7名=合計182名が合格し、合格数・合格率ともに過去最高となりました。また、総合型選抜・学校推薦型選抜にも過去最多の117名が出願し71名が合格。およそ4人に1人が一般選抜以外で合格したことになります。難関国立10大学には北海道大学2名・東北大学9名・大阪大1名が合格。輝かしい実績を残して、多くの卒業生たちが進路希望の実現を果たしました。在校生のみなさんも先輩たちに続き、それぞれの進路希望を叶えてください！

SAH (Student Agency Highschool) で変わる進路指導の重要ポイント 10

(1) 高女進路指導計画(椎樹プラン)を、高校3年間を見通して改定

「椎樹プラン」は以前からある高女のキャリア教育プログラムです。高女のシンボルツリーである椎の木が成長するように、1年で「根」を張り、2年で「枝」を伸ばし、3年で「実」をつけるために、新しい時代に合わせてプログラムを見直しました。

(2) 進路について考えるLHR(金6限)を計画的に実施

昨年度までLHR計画で多くの時間を占めていた「〇〇教育」を精選し、進路学習のLHRを計画的に実施します。定期考査や模試の目標設定&受験後の振り返り、長期休業前の学習計画、学年集会や進路講演会などの時間がしっかり確保されます。

(3) 学カテストを実施目的が同じ模試に代替、その他の模試も日程調整をして負担を軽減

学期始めの「学カテスト」は、実施目的・日程が同等の模試で代替し、余裕を持って準備や振り返りを行えるようにしました。その他の模試は例年とほぼ同じですが、無理のない日程で実施できるように配慮します。また、夏休みを中心にオンラインの模試や校外会場模試などの受験を推奨します。

(4) 全員必修・一律の課外や課題の見直し

全員参加で実施していた1,2年生の土曜講座・夏季講座は実施しません(3年生の希望者講座は今までどおりやります)。夏休みは教室を開放して「集中学習会」を行い、質問対応や希望制の講座を設けます。部活動は酷暑を避け、午前中に実施。早朝課外は今までどおり、1,2年は英数国、3年は地歴公民・理科をプラスしてニーズに応じて開講(基礎・発展)します。

(5) 難関大学を目指す生徒のための、集団・個別プログラムを計画的に実施

難関大学合格には、高校1年次から高い目標を掲げて計画的に実力を高めていく必要があります。難関国立10大学(旧帝&一橋・東工・神戸)と国公立医学部医学科合格を目指す生徒を主な対象として、NP(難関大プロジェクト)・MP(医学科プロジェクト)を実施し、集団・個別でモチベーションUPのための様々な講座を実施していきます。

(6) 受験は年内入試(総合型選抜・学校推薦型選抜)&一般選抜の「二刀流」で受験

志望校に合格するためには、一般選抜で合格できる力を付けることが大切ですが、大学入試改革で入試の多様化が進み、総合型選抜・学校推薦型選抜の比重が高まっています。「年内入試」とも呼ばれるこれらの入試の活用を図り、合格チャンスを増やすとともに、高大のスムーズな接続をはかり、大学入学後に活躍・貢献できる高女生を育てます。

(7) 大学生・社会人との交流を推進

OGを中心として大学生・社会人の方々に「進路サポーター」として協力していただき、受験のアドバイスや大学・社会人生活について話を聴く機会を増やします。卒業の際には、みなさんも「進路サポーター」として連絡先の登録をお願いします。

(8) 「総合的な探究の時間」における探究活動を進路実現に生かす

「探究活動」は、(6)にあげた年内入試(総合型選抜・学校推薦型選抜)突破の最重要ポイントになります。1,2年次に探究したことを大学での学びや社会貢献に結び付けていくことで、出願書類(志望理由書等)はバッチリ作成できます。

(9) 英語コミュニケーション能力UP(高女生英語ペラペラ計画!)&英検取得を進路実現に生かす

SAHではグローバル活動の推進&英語コミュニケーション能力向上も重要な取り組みの1つ。英検は総合型・学校推薦型・一般選抜を問わず、今ドきの大学受験では必須。英検準1級取得を目標として英語四技能をバランスよく高めていきましょう。

(10) 教科・進路学習教材デジタル化の検討を進める

2,3年「スタディサポート」はWEB解答で実施、また、今年度卒業生の「合格体験記」は紙の冊子を作成せず、PDFデータを閲覧する形式で発行予定です。デジタルの活用によって用紙・印刷代などの経費や配付・回収の手間をかなり減らせます。従来型の学習(丸暗記・詰め込み学習・大量の課題 etc.)を脱却し、自立学習・個別最適化学習を進めていくには、デジタルの活用が望まれます。高女では現在「スタディサプリ」と「スタディサプリEnglish」を導入していますが、生徒からも教科書や問題集のデジタル化は要望があり、スタディサプリ以外の教材も今後検討を進めていきたいと考えています。

以上は今時点での「計画」であり、みなさんの意見・要望を踏まえ、具体的に実施内容を考えたり、改善したりしていくことがたくさんあります。特に進路委員の人には手伝ってもらえるかも知れません。よろしく願いします。(*。_。))